

四国 88 箇所歩き遍路第 9 回 1 日目 (このページの写真をクリックすると拡大)

第 9 回 区切り打ちの最終回です。12 月中旬の 5 日間で結願(けちがん)を目指します。1 日目は観音寺駅から 70 番本山寺、71 番弥谷寺、72 番曼荼羅寺と 73 番出釈迦寺の 4 ケ寺。門先屋旅館までの 21 キロでした。

駅から 5 キロの本山寺。一夜で建ったという寺の用材は徳島県三好市井ノ内の山中で伐採し、香川県三豊市財田で組み立てられました。財田は本山寺の東 10 キロ、井ノ内は財田から南 20 数キロにあります。

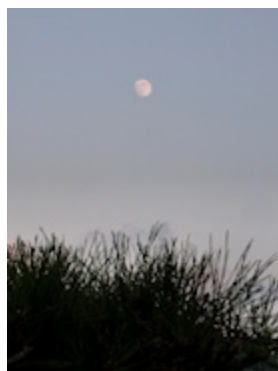
本山寺から 11.5 キロで弥谷寺の山門です。門の手前にトコロテンを売るチョットみすばらしい俳句茶屋があります。店主が俳人だったそうです。寒いので参拝前に暖をとり、餡餅を食べながらの一服です。



門を入ると正面に大師堂。右に行くと多宝塔に上がる階段がありますが、苔むしていて、上がる遍路は少ないようです。階段横には 12 月半ばなのに、紅葉が始まったばかりのもみじがありました。右の階段を十王堂と観音堂を見ながら上がり、さらに本堂への階段の途中には、岩壁に阿弥陀三摩崖仏が浮き彫りにされています。



弥谷寺から 3.5 キロで曼荼羅寺。門先屋は寺のすぐそばにあります。荷物を置いて曼荼羅寺と 600m 先の出釈迦寺に参拝しました。



出釈迦寺山門の左奥には捨身ヶ嶽禅定が見えます。参拝後の 4 時半には月が出て、大師像はシルエットになりました。

門先屋着は 4 時 40 分。捨身ヶ嶽参拝は明日に持越しです。

第9回 1日目の一言日記

第70番 七宝山 本山寺(もとやまじ)



弘法大師一夜建立の寺。五重塔が建つ。本堂の外観は京都風、内観は奈良風で国宝。円柱切妻造りの仁王門は重文。

第71番 剣五山 弥谷寺(いやだにじ)



大師幼少の頃、大師堂奥の獅子の岩屋で学問した。このとき五柄の剣を得たので剣五山の山号。本堂近くの岩壁に磨崖仏。

第72番 我拝師山 曼陀羅寺(まんだらじ)



弘法大師の先祖佐伯家の氏寺。唐の青龍寺に模して堂塔を建立し曼荼羅寺とした。この時植えた松が最近枯死。西行の昼寝石が残る。

曼陀羅

曼荼羅とは諸仏菩薩を体系的に描いた図で、仏の悟りの世界を象徴する。密教には四種の曼荼羅がある。

諸尊の形相を描いた尊形曼荼羅

持物や印相だけで仏体を表す三昧耶曼荼羅

諸尊を象徴する梵字(種子 しゅじ)だけで表す種子曼荼羅

諸尊の彫像を立体的に配置し構成する羯磨曼荼羅

密教の教えは奥深く言語文字表現は困難、図画をもって示す。

第 73 番 我拝師山 出釈迦寺(しゅっしゃかじ)



寺の後方に我拝師山があり、山の断崖絶壁から身を投げた大師は釈迦如来に救われた。境内には捨身ヶ嶽遥拝所があり、捨身ヶ嶽禅定(心を一つに集中)の建物が仰がれる。